

様式第3号

沖縄県土木建築部公告八土第26号

簡易公募型総合評価落札方式（簡易型）に係る手続開始の公告

地方自治法（昭和22年法律第67号）第234条第1項の規定により、次のとおり入札の手続きを開始します。

令和2年2月20日

沖縄県土木建築部八重山土木事務所長
勢理客 武

※本手続は、県議会における繰越承認を前提とした事前準備手続であり、議会承認後に効力を生じる事業である。したがって、県議会において、本業務に係る予算の繰越承認が否決された場合は、延期又は中止することがある。また、予算の繰越承認後においても、国庫支出金に係る繰越（翌債）手続の関係上、入札を延期する場合がある。

1 業務概要

- (1) 業務名 八重山管内道路現場技術業務委託（R1-5）
- (2) 履行場所 八重山管内
- (3) 業務内容 ア 現場技術業務 一式
イ 対象工事 3件（予定）
- (4) 履行期間 契約締結日の翌日～令和2年6月30日まで
- (5) 本業務は、受注者を特定する場合において、一定の条件を満たす者を公募により選定し、当該業務に係る実施体制、実施方針等に関する提案書（以下「技術提案書」という。）の提出を求め、技術提案書の内容と入札価格が業務の履行に最も適した者を受注者とする総合評価落札方式である。

2 入札参加資格

入札に参加しようとする者は、次に掲げる資格等を満たしていること。

- (1) 参加者に共通して求める要件
 - ア 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定に該当していないこと。
 - イ 沖縄県の平成31・32年度測量及び建設コンサルタント業務入札参加登録者名簿に、業種区分：土木関係コンサルタントの「道路」又は「施工計画施工設備及び積算」として登録された者であること。
 - ウ 会社更生法（平成14年法律第154号）に基づく更生手続開始の申立てをした者にあつては更生計画の認可がされていない者又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づく再生手続開始の申立てをした者にあつては再生計画の認可がなされていない者ではないこと（沖縄県の入札参加資格の再認定を受けた者を除く。）。
 - エ 参加表明書等の提出期限の最終日から落札者決定日までの期間において、沖縄県の工事等契約に係る指名停止等の措置要領に基づく指名停止がなされていないこと。
 - オ 入札に参加しようとする者との間に資本関係、人的関係又は、その他入札の適正さが阻害されると認められる関係がないこと。
 - カ 警察当局から、暴力団員が実質的に支配する業者又はこれに準じるものとして、沖縄県土木建築部発注業務委託等からの排除要請があり、当該状況が継続している者でないこと。
 - キ 沖縄県内に本店があること。
- (2) 実績及び管理技術者等の要件
 - ア 企業に関する要件
 - (イ) 2(2)イからエに挙げる基準を満たす管理技術者及び担当技術者を本業務に配置できること。
 - (ロ) 同種又は類似業務の実績
次に示される同種業務又は類似業務について、平成21年4月1日から公告日までに完了した業務（再委託による業務の実績は含まない。）において、企業単体もしくは共同企業体の代表構成員と

して、実施した業務1件以上の実績を有さなければならない。

a 同種業務：橋梁上部工または下部工に関する現場技術業務

b 類似業務：道路改良工事に関する現場技術業務

(同種業務、類似業務とも国・都道府県・政令指定都市、市町村、各整備機構、高速道路株式会社の公共事業を実施する機関の実績で、契約金額が500万円以上の業務とする。以下同じ。)

(ウ)業務の成績

平成27年度から平成30年度末までに完了し、成績評定結果を受けた業務のうち、沖縄県土木建築部、国土交通省及び沖縄総合事務局開発建設部発注の土木設計業務及び現場技術業務の平均業務成績が55点以上であること。

イ 配置予定技術者の資格に関する要件

(ア)管理技術者

以下のいずれかの資格保有者であること。

a 技術士（総合技術監理部門「建設部門」）の資格を有し、技術士法（昭和58年法律第25号）による登録を行っている者。

b 技術士（建設部門）の資格を有し、技術士法による登録を行っている者。

c R C C Mの資格を有し、「登録証書」の交付を受けている者。

d 1級土木施工管理技士の資格を有する者。

(イ)担当技術者

以下のいずれかの資格保有者であること。

a 技術士（総合技術監理部門「建設部門」）の資格を有し、技術士法（昭和58年法律第25号）による登録を行っている者。

b 技術士（建設部門）の資格を有し、技術士法による登録を行っている者。

c R C C Mの資格を有し、「登録証書」の交付を受けている者。

d 1級土木施工管理技士の資格を有する者。

ウ 配置予定技術者の業務実績に関する要件

(ア)管理技術者

管理技術者は、平成21年4月1日から公告日までに完了した業務において、2(2)ア(イ)のa若しくはbの実績を1件以上有すること。

(イ)担当技術者

(ア)の管理技術者の業務実績に関する要件と同じ。

エ 配置予定管理技術者の手持ち業務量に関する要件

管理技術者は、全ての手持ち業務の契約金額が4億円未満かつ手持ち業務の件数が10件未満である者とする。ただし、契約金額が、1,000万円を超える業務で、管理技術者が低入札調査基準価格以下で契約した業務を担当している場合は、手持ち業務の契約金額が2億円未満かつ手持ち業務の件数が5件未満とする。

※手持ち業務量とは、公告日時点（特定後未契約のものも含む）において管理技術者及び担当技術者となっている500万円以上の他の業務をいう。

3 入札参加者を指名するための基準等

測量及び建設工事コンサルタント業者等の指名に関する要領（昭和61年土総第429号）に定める指名基準による。なお、同要領第2条の「(1)当該業務に対する技術的適正、(2)会社の経営状況及び使用人数並びに技術者の状況、並びに(4)過去における成果の状況」については、同種又は類似業務の実績並びに配置予定技術者の資格、業務の経験及び手持ち業務等を勘案するものとする。

4 総合評価に関する事項

(1)総合評価の方法

算出方法は、以下のとおりとする。

ア 評価値の算出方法

評価値＝価格評価点＋技術評価点

イ 価格評価点の算出方法

価格評価点 = (価格評価点の配分点) × (1 - 入札価格 / 予定価格)

なお、価格評価点の配分点は60点とする。

ウ 技術評価点の算出方法

技術提案書の内容に応じ、下記(ア)、(イ)の評価項目毎に評価を行い、技術評価点を与える。

(ア) 予定技術者の経験及び能力

(イ) 実施方針等

技術評価点 = 60点 × (技術評価の得点合計 / 技術評価の配点合計)

エ 総合評価は、価格評価点と技術評価点の合計値(評価値)をもって行う。

(2) 落札者の決定方法

落札者の決定は、(1)によって算出された評価値の最も高い者を落札候補者とする。

なお、評価値の最も高い者が2人以上あるときは、当該者にくじを引かせて落札候補者を選定する。

落札者は、落札候補者を指名審査会の審議を経て、決定する。その結果は技術提案書を提出した者全員に通知する。

ただし、以下のアからウについて留意すること。

ア 入札価格が予定価格の制限の範囲内であること。

イ 落札候補者となるべき者の入札価格によっては、当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不相当であると認められたときには、落札候補者とならない場合がある。

ウ 落札候補者となるべき者の入札価格が「建設コンサルタント業務等における総合評価方式低入札価格調査試行要領」第3条に基づく調査基準価格を下回る場合は、同要領第8条に基づく調査を行うものとする。

5 入札手続等

(1) 入札説明書、設計図書の交付期間、交付方法等

ア 交付期間 令和2年2月20日(木)から

イ 交付方法 沖縄県電子入札ポータルサイト内、入札情報システムからダウンロードすること。

【入札情報システム】 <https://www.ep-bis.supercals.jp/ebidPPIPublish/EjPPIj?KikanNO=4700000>

ウ 問い合わせ先 公告文6(8)アのとおり

(2) 参加表明書の提出等

入札参加を希望する者は、下記により参加表明書を提出するものとする。

ア 参加表明書の提出期間及び提出方法等

(ア) 提出期間 令和2年2月20日(木)から令和2年2月28日(金)まで

(イ) 提出方法等 入札説明書による

イ 入札参加資格の審査結果の通知(指名通知)

電子入札システム又は書面にて、令和2年3月3日(火)を予定する。

(3) 技術提案書の提出等

技術提案書の提出方法は、次のとおりとする。

ア 提出資格

3に基づき、契約担当者より指名を受けた者。

イ 技術提案書の提出期間及び提出方法等

(ア) 提出期間 令和2年3月3日(火)から令和2年3月11日(水)まで

(イ) 提出方法等 入札説明書による。

ウ 技術提案書のヒアリング

ヒアリングは実施しない。

(4) 入札、開札の日時及び場所並びに入札書の提出方法

入札書は、電子入札システム又は持参(紙入札方式移行申請書提出者に限る。)により提出すること。

なお、郵送又は電送(メールやファクシミリ等)による入札は認めない。

ア 電子入札システムによる場合

入札書提出開始日時: 令和2年3月13日(金) 8時30分

入札書提出締切日時: 令和2年3月13日(金) 16時00分

イ 持参による場合

持参日時：令和2年3月16日(月)10時20分

持参場所：沖縄県土木建築部八重山土木事務所 第3会議室(八重山合同庁舎3階)

※指名通知書及び紙入札方式移行申請書の写しを持参すること。

ウ 開札日時：令和2年3月16日(月)10時30分 電子入札システムにより開札

6 その他

(1) 入札保証金及び契約保証金

ア 入札保証金

沖縄県財務規則第100条の定めるところにより、入札保証金を納めなければならない。ただし、沖縄県財務規則第100条第2項に該当する場合は免除とする。(落札者が契約を結ばない場合は、損害賠償金として、入札金額に消費税及び地方消費税を加えた額の100分の5を県に納付しなければならない。)

イ 契約保証金

沖縄県財務規則第101条及び土木設計業務等委託契約書第4条の定めるところにより、契約保証金を納めなければならない。ただし、沖縄県財務規則第101条第2項第1号から第3号に該当する場合は免除とする。

(2) 入札の無効

本公告に示した参加資格のない者の入札、参加表明書、技術提案書並びにその他提出資料に虚偽の記載をした者の入札は無効とするとともに、指名停止を行うことがある。

なお、指名された者であっても、通知後、指名停止措置を受け落札者の決定時において指名停止期間中である者の評価も無効とする。

(3) 参加表明書又は技術提案書の提出期限後において、原則として参加表明書及び技術提案書に記載された内容の変更を認めない。

(4) 配置予定技術者の確認

ア 参加表明書に記載した予定技術者は、原則として変更できない。ただし、病休、死亡、退職等のやむを得ない理由により変更を行う場合には、同等以上の技術者であるとの発注者の了解を得なければならない。

イ 落札者の決定後、TECRIS等により配置予定管理(担当)技術者の専任制(手持ち業務量)違反の事実が確認された場合、契約を結ばないことがある。

(5) 低入札価格調査制度要領に基づく調査の実施

「技術提案の履行確実性」について調査を実施する。

(6) 低入札調査基準価格を下回った価格をもってする契約について

低入札調査基準価格を下回った価格をもって契約する場合には、次の条件(及び入札説明書による条件)を契約の条件とする。

ア 低入札価格で落札した業務については、受注者自ら実施する現場技術業務における照査とは別に、受注者の責任において第三者による照査を義務付け。

イ 現場作業を伴う業務における監督強化

現場技術業務等における現地調査は、管理技術者自ら実施することを義務付け。

ウ 管理技術者の手持ち業務に低入札業務がある場合手持ち業務量の制限を行う。

通常、4億、10件を2億、5件へ変更する。

(7) 電子入札について

本案件は、入札を電子入札システムで行うものであり、対応についての詳細及び電子入札に関する事項は、入札説明書及び沖縄県電子入札運用基準による。

(8) 問い合わせ先一覧

ア 入札及び契約関係：〒907-0002 沖縄県石垣市真栄里438-1
沖縄県八重山土木事務所 総務用地班
電話番号 (0980)82-2217

イ 応募調書資料関係：〒907-0002 沖縄県石垣市真栄里438-1
沖縄県八重山土木事務所 道路整備班

電話番号 (0980)82-3226

ウ書類提出先：イと同じ。

(9) 詳細は入札説明書による。